

# 民報あばしり

No. 957

2014・2・16

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四三・四四五八  
F 四三・四四五七



## 第49回あばしりオホーツク

### 流水まつり

第49回あばしりオホーツク流水まつりが2月8日から11日まで行われました。開会セレモニーが行われた8日は、



### 寒さの厳しい中、元気に

### 「核兵器廃絶署名」の6・9行動!

冬のイベント「流水まつり」の真只中、原水爆禁止網走協議会が毎月行っている核兵器廃絶の署名活動の6・9行動が、ベーシック橋北店で行われました。

晴れた天気でしたが、流水が接岸した初日とあって、身を切る寒風の中、行き交う市民に署名を訴えていました。

署名したある市民に「年金が減らされて生活が大変だ。核兵器を無くすことも大切だが、日常生活も大変。

晴天に恵まれ多くの市民や観光客で賑わいました。会場にはメイン像をはじめ市民が手作りの41基の雪像、氷像が並んでおり、どれもが力作でした。

網走市観光課によると、今年の入込み数は89,000人で、前年より開催日数が1日多かつたこともあり、昨年より14,000人多かつたそうです。

ある雪像の近くで、じつと見つめる人に、お話をうかがうと、「先ほど外国の観光客が、あなたが造ったのですかと聞かれ、そうですと答えると握手を求められた」とのことでした。

いま「来年はどんなものを作ろうか」と思案しているところだそうです、すでに1年後の構想を練っていたのには驚きました。

### この声を国にもっと届けてほしい

「この署名は日本原水協を通じて国連に届けられます。核兵器廃絶をめざす国々を励まして核廃絶に向けた様々な決議に役立っています」と答える、「そうだったのか、カンパしてくれただのこと。」

寒い中での行動でしたが、参加者は、寒さを吹き飛ばすほどの熱意で奮闘していました。

## いよいよ東奔西走

テレビ・新聞等はソチ五輪一色ですが、その間にも政治はどんどん進みました。東京都知事選挙では、スポーツを通じて真の平和・友好・交流を訴え、

国民本位の東京五輪を訴えた「宇都宮健児」さんは、五輪に便乗した大型開発推進とメダルで国威発揮を狙うスキヤンダルまみれの「舛添要一」氏に敗れましたが、その戦いは対決軸と具体的政策で、「舛添・細川2強対決」といわれたメディア構図を打ち破る大健闘でした。

先週書いたスケートで40回目の市民大会が開かれ66人集まり楽しいリンクでした。当日、4年前のバンクレーパー五輪代表の太田明生選手も特別参加し素晴らしい滑走で観客を魅了しました。

閉会式で特別講話した太田選手「今回のソチ五輪も狙ったが、0.16秒の差で代表を逃しました。わずかの差ですが、そこにはすごく沢山の意味が込められています。皆さんの中から将来五輪を狙う人もいます。わすかの差を様々な努力で克服し、代表を目指してほしい」訴えました。

小さい子どもたちは「わずかの差」の意味を分かるまで時間がかかりませんが、最東端のリンクから再び代表が羽ばたいてほしい気持ちで一杯です。

## 松浦奮戦メモ

先週7日に、屋台村に行きました。3年前の東日本大震災で未曾有の被害があり、半年後に日本共産党のポランティアとして、私とNさんとKさんの3人で網走村から宮城県気仙沼市に行ったのですが、その3人で屋台村に行っただけです。

この日は、とても寒い日で寒さ対策も万全にして望みましたが、現実には甘くありませんでした。

午後6時に待ち合わせしてジンギスカンを仕入れて焼けるのを待っていました。寒くて熱燗を飲んでも身体がなかなか温まりません。それでも1時間30分がんばっていましたが、下半身が冷え込んで風邪をひく前にと室内に逃げ込みました。

寒い中でもたくさん市民や観光客も来ていましたが、大変なのはスタッフのみなさんだと思えます。あの寒い中を午後8時までがんばって、後片付けをしてからお店にもどって仕事をするのですから

私たちのように寒くなつたからと逃げ出すことができないみなさん本当にご苦労様でした。

## 流水

「子育てと仕事の両立すこいね」と言われても複雑な気持ちになる。「僕の仕事に差をつける」かえらない程度にと「われ」夫の仕事も大変で一緒に子育てと家事を

「子育てと仕事の両立すこいね」と言われても複雑な気持ちになる。「僕の仕事に差をつける」かえらない程度にと「われ」夫の仕事も大変で一緒に子育てと家事を... (The rest of the text in this block is a continuation of the '流水' column, discussing work-life balance and social issues.)